

夏新上西門院崩御ありし且去年及び此秋も諸州大風洪水庶民溺死千を以て數ふかる事につけても正の字のためし思ひ出侍りしに神無月十四日幕下薨せさせ給ひし嗚呼賢哲の君にて渡らせましましければ天下のおしみ奉る事いふばかりなし因て云宋の真宗の豐亨を楊大年が爲に不可といひ用ひざりしとかや其外純熙隆平之號義を論じ天聖明道の字を賀せし歸田錄等に見へたり我國正保の時京童の口吟に正保は正しき人口木哉といへりし延寶改號の時内々は明和と號せらるべきなど議せられ勸文を草して啓せしに法皇後水尾院聞しめして九年あらば如何と仰事ありて停じとかやめいわくとしと聞倭漢古ベより年號の文字評議有る事にや。

賢按年號之事近年紀傳明法の博士難陳有といへども明和九之後水尾帝の遺勅にもとりて九年に當りて江戸大火八月大風南鎌銀通用して天下の金氣失て白氣の陰氣强行はれたる世とはなりたる也是に依て安永と改たれども江戸大火洪水疫癥流行諸國山やけ出し又天明と改れども此盡る節は如何成行事哉覽と京童の口吟にあり打續淺間山燒出し大水飢饉打續六年は將軍御他界執事家に難あり此上は五穀豐饒を祈のみ

〔本朝改元考〕本朝自大寶至今延寶年號凡二百有六同號者未之有也其改元月日博求具書之日之與支干有異者自大寶至天平寶字以儀鳳曆自天平神護至貞觀以大衍曆元慶以來以宣明曆考而正之以貽我後人○下

〔元秘抄〕和漢同年號例

天武
朱雀渤海

文武
大寶僞位梁簡帝年號二

文德
天平僞東魏年號

景雲唐睿宗年號二

平城大同僞位梁武帝年號十一

仁明
聖武
神龜後魏孝明帝二
承和僞北小涼年號

文德
天平僞東魏年號
仁壽隋文帝年號四

文德
天安僞魏獻文帝年號